



5月10日(土)午後2時～
フラワータウン市民センター



5月14日(水)午後7時～
藍市民センター



参加者

市の現在の借金の総額はいくらあり、どのように返していくのか。

全体の借金の残高は723億円。借金の返済額は50～40億で推移すると思われる、ニュータウンの開発時に国と県から借り入れた立替施行は繰り上げ償還を行ってきており、平成33年から縮小する見込み。公債費比率は11%以下の低額。

議員



参加者

民法では「私権は公共の福祉に優先しない」とある。平谷川横の工事については、どのような性格の開発業者が行うのか、景観への影響も考慮にいてほしい。行政は土地の所有者の権利があるというが、議会で開発を規制するような条例をつくって対処してほしい。

土地の所有者には権利があるが、ニュータウンの土地には用途地域が定められ、住民の総意や法律に基づいて規制されている。日頃から議会へも意見を届けてもらい、住民といっしょになって調査・研究しながらまちづくりをしていきたい。

議員



参加者

三田には多くの古墳がある。イノシシ村やホテルなど観光資源を活用してはどうか。

三田市を売り込むシティセールス事業の予算化を行ったところであり、三田牛(肉)を活用した、ふるさと納税などで三田をPRする。

議員



参加者

有馬富士公園と人と自然の博物館をつなぐバスを土日、祝日だけでも走らせれば、観光にもっと活かせるのではないかと。また道の駅をつくることも考えてはどうか。

それぞれの施設の有効活用や道の駅について、これまでも議会から市に要望してきたが実現されていない。再度検討課題とする。

議員



参加者

議員は条例を提案できる権限があるのだから、条例を制定するよう進めてほしい。

市民の要望に対してどのような条例が当てはまるのか、その形や手法など検討が必要。限られた財源で考えていかなければならないため、皆様のご要望の中から取捨選択し、必要であれば我々も市の担当職員と一緒に現地に赴きながら、条例制定以外の取り組みもすすめている。

議員



参加者

市民病院の会計はプラス、マイナスのバランスはとれているのか。

以前は単年度決算の中では赤字ではあったが、昨年度は黒字になっている。以前は医師、看護師不足のために床数が随分と落ち込んだが、今は300床が稼働しており、健全財政になっている。

議員



参加者

今後どんどん高齢者が増えるが、高齢者にお金をつぎ込むのも限度があると思う。若い人に子供を産んでもらい3人以上産んだ人にはご褒美を与えるなど、インセンティブがほしい。若い人を大事にし、若い人が増えるようにしなければならない。

高齢者は、様々な経験を積まれてきている。高齢者を大切にすることで、子どもがよく育っていくのではないと思う。若い人が三田に来て、子供を産み、育てられるまちづくりをすすめるべきではないか。

議員

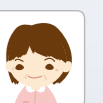


参加者

この報告会での提案などが、どのような扱いになっているのか、実現されているのかわからない。今後、報告会をどのようにされていくつもりなのか。議会の報告会を座談会的な意見交換の場にしてほしい。

昨年の反省会も開き、議会に設置している議会改革推進委員会の中で、皆さんからのご意見を取り入れ、議会報告会のあり方についても議論している。企画、福祉 まちづくりと常任委員会ごとの交換会や、テーマを決めて秋にもう一度開催できればと、議論を重ねている。

議員



参加者

各団体の補助金の適正化を図り、どんな事に使われているのか。はっきりしてほしい。

しっかりと見直しをしていきたい。補助金のルール化もすべきと考える。

議員



参加者

三田には緑色の自転車専用の枠がなく、非常に危なく、身の危険も感じる。自転車の通行と歩道をわけてほしい。

自転車道の整備は非常に難しいが、ご意見をしっかりと受け止め、進めていきたい。

議員



説明 *立替施行：大規模な宅地開発事業に伴い必要となる関連公共施設（教育施設、給食センター等）について、当該地方公共団体（三田市）に代わって、開発事業者（兵庫県、現独立行政法人都市再生機構）が資金を立て替えて整備する手法をいう。三田市は、兵庫県及び都市再生機構が立て替えた整備費用について、長期割賦により返済している。